

【日本総研 技術価値創造戦略グループセミナー】

研究開発テーマと研究開発部門の再構築Ⅱ

～ 研究開発の効率を最大化させるためにやるべきこと ～

開催趣旨

現在、日本のメーカーは、研究開発予算の縮小や予算実行の凍結を行いながら研究開発の選択と集中を図っており、研究開発部門には研究開発の成果が今まで以上に問われています。更に、このような状況において、研究開発の効率をどのように最大化させるかという課題は、研究開発部門に止まらず、企業の命運を左右する経営課題にまで発展していると言えます。

そこで、本セミナーでは、日本総研技術価値創造戦略グループの豊富な経験に基づき、中長期のテーマ創造・技術インパクトの評価・顧客開発という3つの視点から、研究開発効率の最大化に向けたご提案をさせていただきます。なお今回の講演は、前回の「研究開発テーマと研究開発部門の再構築」セミナーにおいて皆様から頂戴したアンケート結果を鑑み、リアリティをより重視した内容となっております。

また、皆様のご相談を個別に承るための「個別相談会」を、セミナーの最後に設けております。ぜひ、この機会をご活用頂ければ幸いです。

<日本総合研究所 技術価値創造戦略グループとは>

日本の大手製造業の研究開発部門や製造部門に埋もれた「技術」を掘り起こし、技術者と正面から向かい合いながら「技術」の本質を突き詰め、その本質を起点に事業の新たな絵姿を描くことによって、事業としての「価値」を「創造」することを実践しております。

日時	2009年11月27日(金) 13:30～16:40
会場	㈱日本総合研究所101会議室
対象	研究開発部門(事業部内の研究開発部門も含む)または新規事業開発部門の担当役員、本部長、部長
定員	先着80名迄
受講料	お一人様3,150円(消費税込)
主催	株式会社日本総合研究所

プログラム

13:30-14:00 「研究開発テーマと研究開発部門の再構築」 ～今回の趣旨説明～

株式会社日本総合研究所 総合研究部門 技術価値創造戦略グループ 研究員 鐘ヶ江 靖史

前回のセミナー(2009年9月24日実施 http://www.jri.co.jp/consul/event/event2009.html#20090924a_rcd)を踏まえて、「研究開発の効率化」を目的とした、研究開発テーマと研究開発部門の再構築の全体像を示した上で、今回の講演内容の位置づけを説明する。

14:00-15:00 「5年後、10年後の事業の柱となる研究開発テーマの創造」

同、ディレクタ兼首席研究員 時吉 康範

研究開発の効率向上のために投資抑制策を取ったものの、投資家からは「成長戦略が見えない」との指摘が続いている。しかしながら、成長を担うべき研究開発テーマの多くは既存事業の領域に集中し、新規事業の領域にあるテーマは小粒化しているようだ。その原因を掘り下げながら、将来の事業の柱になりうる研究開発テーマを創造する方法を提案する。

15:15-15:55 「技術のインパクトの評価とテーマの再構築」

同、サブディレクタ兼主任研究員 南雲 俊一郎

民間企業の研究開発テーマの評価において、「技術のインパクト」を考慮することは重要だが、技術のみを分断して評価を行うことに意味があるのだろうか。「技術のインパクト」を定義した上で、その評価方法とテーマの再構築に繋げる方法を提案する。また、1990年比25%の温室効果ガス削減という野心的な目標が設定された中で、「インパクト」のある技術とは何かを探る。

16:00-16:40 「研究開発部門に求められる顧客開発」

同、首席研究員 丸尾 聡

中長期の研究開発テーマは「現存しない顧客」がターゲットになる。よって、「現存する顧客」に研究開発する製品に対して、反応を聞く意味は小さい。かといって、「顧客」の声を無視して上市するのリスクもある。こうしたジレンマの本質を掘り下げながら、顧客開発を進める方法を提案する。

16:45- 「研究開発に関する個別相談会」

申込時にご予約(当日のお申込も可能です)

研究開発に関する課題を中心に、当グループの時吉、南雲、丸尾の3名が個別にご相談を承る機会を設けました。今回の講演内容だけに限らず、研究開発に関する組織や人材などについてもお気軽にご相談ください。

※ただし、1社あたり最大30分、先着順に実施とし、順番までお待ち頂きますことをご容赦ください。

* 講演時間・内容については、若干変更の可能性もございます。予めご了承ください。

申込要領

- ①弊社Webサイトの所定フォームからお申しいただくか、受講申込書をFAXにてお送りください。後日、受講者様宛に受講票および請求書を郵送致します。尚、1週間経過しても請求書がお手元に届かない場合は、下記申込照会担当までご連絡下さいますようお願い致します。
- ②受講料金は必ずセミナー開催当日までにお振込みいただきますようお願い申し上げます（振込手数料は貴社負担にてお願い致します）。当日現金によるお支払いはお受けできません。原則として、領収書の発行は致しかねますのでご了承ください。
- ③お申込後の取消し・受講料の払い戻しはお受けできません。お申込者のご都合がつかない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。
- ④セミナー当日は受講証をご持参のうえ、受付にてご提示下さい。
- ⑤セミナー会場においては、ビデオ・カセット・ICレコーダー・MD等による撮影や録音は固くお断りします。

受講料(含資料代・消費税)	申込照会先	受講料お振込先
一名様につき 3,150円 (本体価格3,000円)	(株)日本総合研究所 総合研究部門 TEL 03-3288-4917 内容照会：横内 申込照会：井上	三井住友銀行 青山支店 普通預金 No.557391 株式会社 日本総合研究所 加二ホソリウゴウ ヲケヅキウツヨ